



「こころの友伝道の組織Ⅰ」



日本キリスト教団
伊豆高原教会 (静岡)
すどう しげる
信徒 須藤 繁

(こころの友伝道全国連合副会長)

1 組織の特色

こころの友伝道の活動は、1947年以来、来日を重ねたスタンレイ・ジョーンズ博士、マコンネル博士らの講演をきっかけにして、1951年、諸教派の集まりであるNCC(日本基督教協議会)の中に訪問伝道(こころの友伝道の前身)全国協議会が設立されたのが組織化の始まりです。その後日本基督教団伝道部の中にも訪問伝道委員会が設けられましたが、同教団及

びNCCの機構改革により両組織が廃止されたことを機に、東西の有志が集まり、1969年の第16回訪問伝道全国講習会の開催に合わせ、NCCよりさらに幅広く諸教派の教職、信徒の参加を求め、現在につながる「訪問伝道全国連合会」が設立されました(会長・島村亀鶴牧師)。その創設メンバーには日本基督教団の牧師以外に日本イエス・キリスト教団の中島彰師が加わり、中央委員にも多くの教派、教団の教職・信徒が参加しました。そのこともあって、毎年開かれてきた全国講習会に集った教派、教団は、1980年代初頭には、延べ40の教団、34の単立教会に上ったことが報告されています。その後も、2011年には日本アッセンブ